

第1章 目指す藤枝の教育の姿

1 藤枝市の教育の基本的な考え方

(1) 基本理念

笑顔あふれる教育

子どもを中心に、大人も学び合い、支え合う

グローバル化¹⁰や長寿社会の急速な進展などを背景に、今後も大きな変化が想定される現在、「**生きる力¹**」の**必要性**が増しています。

特に子どもたちが成長していく過程においては、**自分でやり遂げる力（自立）や思いやりの心を大切に支え合って生きる力（協働）**を身につけることがますます重要となっており、**この力を社会の中で自ら活かしていけるような子どもの育成が期待**されています。

その中で、子どもたちの成長を促す大きな原動力となるのが、子ども自身が心に描く将来への夢や希望です。

子どもが夢や希望に向かって自発的に学び続けるためには、その過程で「新しいことを知る喜び」「分かる喜び」「仲間と共に学ぶ喜び」を体感することが必要です。また、「遊び」の中から経験的にいろいろなことを学ぶ幼児期のように、一つのことに夢中になるという体験も重要です。

これらは「学びの楽しさ」であり、そこには必ず『笑顔』があります。

私たちは、子どもが夢や希望に向かって笑顔で生活できることを第一と考え、子どもを中心に大人も学び合い、支え合うことを目指し、「**笑顔あふれる教育**」を教育の基本理念とします。

人がまちをつくり、まちが人を育むという視点から、一人ひとりの人生を実りあるものとするため、教育を受ける側の思いを大切にし、子どもが強みや生きる糧となるものを自ら求めて身につけられる教育、未来の藤枝市を担う頼もしい人づくりを進めることで、「**教育日本一**」を目指します。

(2) 子どもたちに身につけてほしいこと

基本理念の下、子どもたちに身につけてほしいことを明示し、家庭・地域・学校等が一体となって教育に取り組んでいきます。

1 当たり前が当たり前でできること

2 自ら考え、工夫し、切り拓いていくこと（創造力・問題解決力）

3 人と関わりながら、自分を活かせること（コミュニケーション力）

(3) 「教育日本一」の具体化に向けて

「笑顔あふれる教育」を実現させるためには、教育の内容や体制を含めた環境の充実が必要不可欠です。

本市では、「教育日本一」の具体化を図るべく、「**教育といえば藤枝**」と言われるような「**学びの環境づくり**」に取り組めます。

「日本一」を単にものさしとするのではなく、可視化や数値化できない様々な側面を含め、市民総がかりで取り組むことで、**他市町村のモデルとなるような理想的な教育環境『学びの環境モデルふじえだ』**づくりを進めます。

2 「学びの環境モデルふじえだ」を実現するために

～藤枝の強みを活かして～

教育環境の充実を図るためには、家庭・地域・学校等が持つ教育力を発揮しながら、連携して子どもの教育を進めていくことが大切です。

本市では、自治会や町内会の学校教育に対する深い理解を背景に、地域が学校を支える意識が高く、地域コミュニティは活発に活動しています。

こうした強みを活かしながら、「**すべての大人が子どもを慈しみ育てる**」という体制をさらに強いものとするため、「家庭」「地域」「学校等」それぞれの役割を明確にし、その役割をしっかりと果たすとともに連携体制の確立を推進していきます。

(1) 家庭の役割

すべての教育の出発点は家庭です。

家庭は、家族の愛情によって結ばれた安らぎの場であると同時に、子どもが成長し大人になっていく最大の学習の場です。家族の言動のすべてが手本となります。

子どもたちは、家族の絆の中で、大きな愛情を与えられることで「自分は必要な存在なのだ」という思いを育みます。乳幼児期から青少年期を通して、子どもの心に「**自己肯定感¹²**」を育むことを**家庭の大きな役割**とします。

また、子どもが日々の生活を通して、基本的な生活習慣や自立心、自制心、他人に対する思いやり、善悪の判断などの基本的倫理観を身につけ、生活を共にする上で「当たり前なことが当たり前に見える」ような基礎づくりの場とします。

(2) 地域の役割

地域は、家庭や学校等における限定された人間関係を離れ、様々な人や集団と関わり、自然や優れた芸術や文化に直接触れ、体験をすることができる場です。様々な役割を持つ異なる年齢層の人と出会い、地域での活動を行うことで、自分に自信が付き、社会性を一層発展させることが可能となります。

地域の一人ひとりが「子どもは地域全体で見守り、育てる」との意識を持ち、自らが子どもの手本となるよう行動するとともに、**家庭や学校等が行う教育に対して積極的に支援することを地域の大きな役割**とします。

また、一人ひとりの持つ能力を活かし、共に学び合い、支え合うことができるよう地域と学校等が一体となって生涯学習を進めます。

(3) 学校等の役割

学校等は、仲間との関わりを通して「生きる力」を育み、一人ひとりの特性に応じた心身の育ちを促す場です。

自立した社会人となるために、確かな学力¹⁹や豊かな人間性、健やかな体をバランスよく育成します。

子どもたちが人と支え合って生きる大切さを知ることができるよう教育活動を工夫するとともに、**学ぶ喜びを実感できる豊かな学習機会を提供することを学校の大きな役割**とします。

また、保育所・幼稚園・小学校・中学校・高等学校が連携を深めることによって、長期的な視点で子ども一人ひとりの成長を支えるとともに、特別支援教育²⁵の充実を図ります。

藤枝の教育 イメージ図

家庭・地域・学校等の

愛情

(いっく慈しみ)

笑顔 あふれる 教育



創造力・
問題解決力

コミュニケーション力

当たり前のことが
当たり前に見える

目標Ⅰ

市民総がかりで子どもの未来を応援します
～0歳からのスタート～

目標Ⅱ

一人ひとりの子どもに未来を生き抜く力を育てます
～学校教育を中心に～

目標Ⅲ

だれでもどこでも学び合う環境を整備します
～生涯学習の観点から～

地域 学校等 家庭 行政